



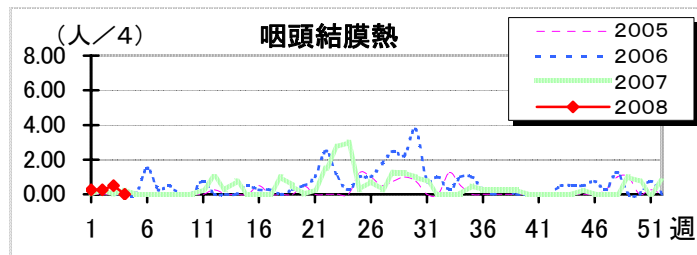
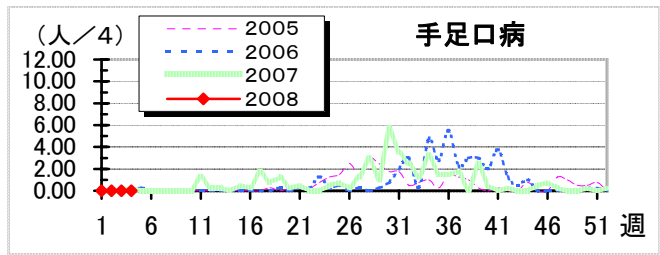
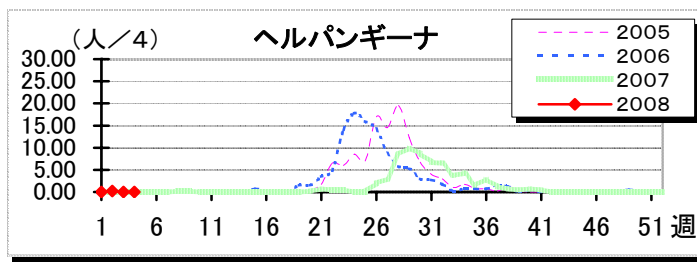
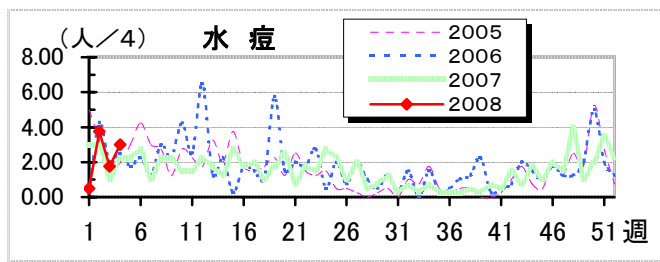
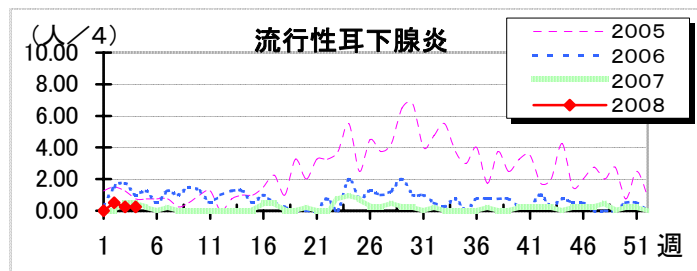
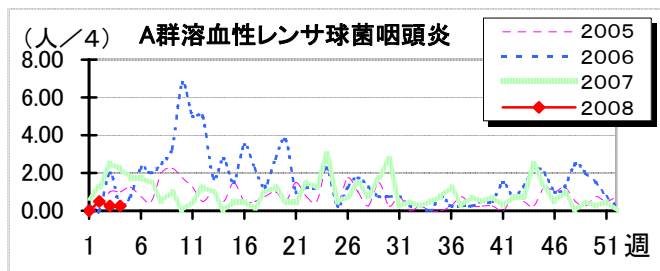
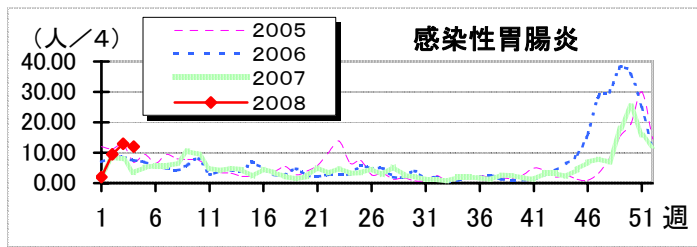
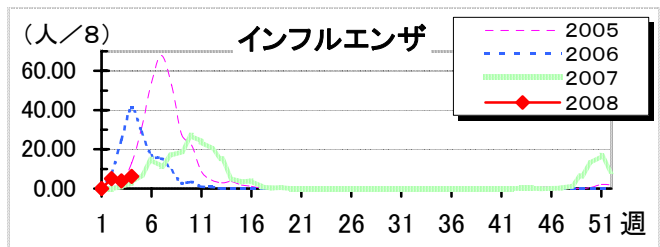
# Infectious Diseases Weekly Report City of Kita

## 感染症発生動向調査／北区感染症週報

2007年51週-2008年4週(12月17日～1月27日)

東京都北区保健所 保健予防課 結核感染症係 電話 (3919)3101

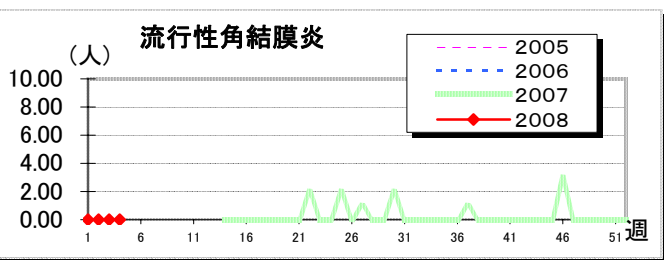
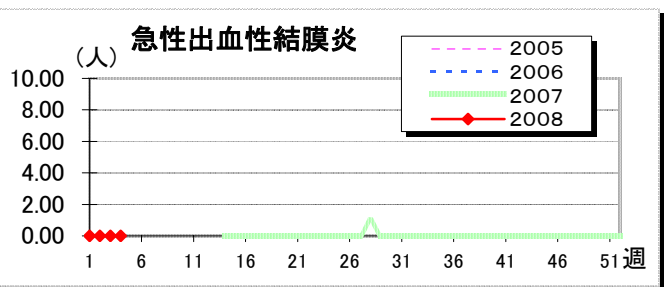
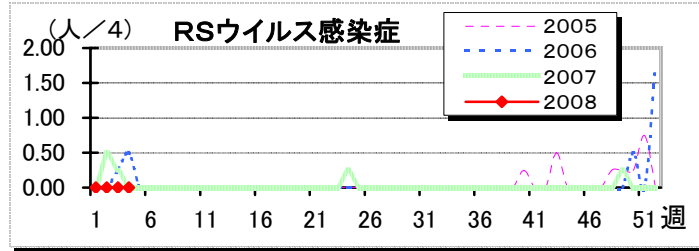
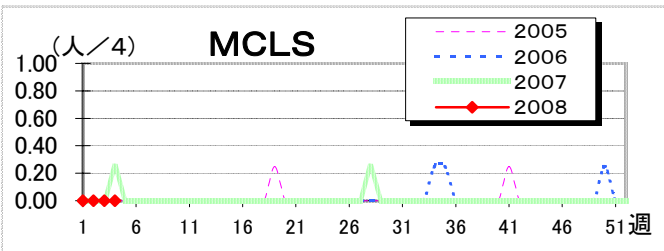
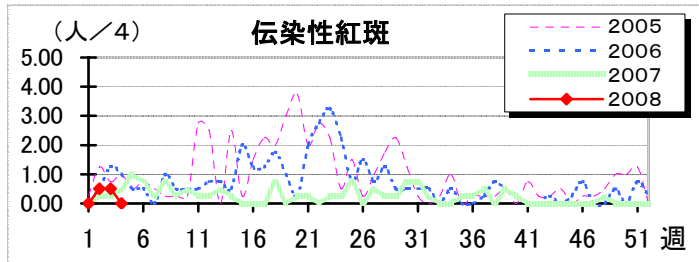
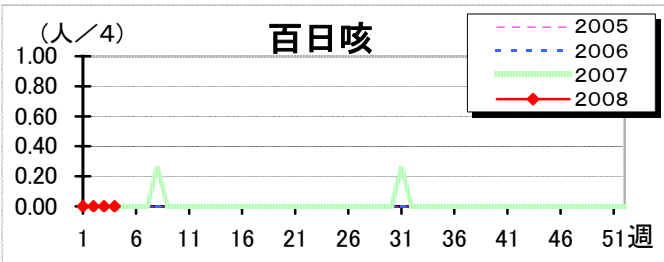
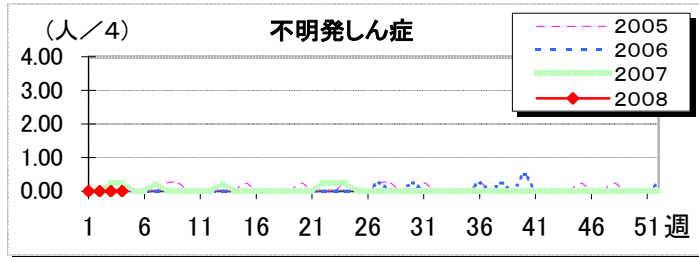
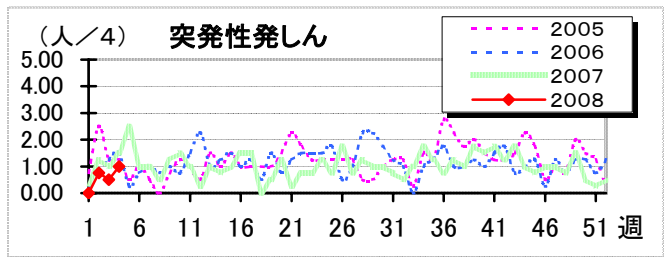
### 1 北区感染症サーベイランス (4年間の北区一定点医療機関あたり報告人数)



#### 今週のコメント (第51-4週)

■ 今週は内容が多く紙面を分けましたので別紙をご参照ください。

※「麻しん」、「風しん」は2008年1月から全数把握対象疾患【5類感染症】になりました。



疾病別の<北区>定点医療機関数

疾病	医療機関数
インフルエンザ	8
不明発しん症	
MCLS	
咽頭結膜熱	
A群溶血性レンサ球菌	
感染性胃腸炎	
水痘	
手足口病	4
伝染性紅斑	
突発性発しん	
百日咳	
ヘルパンギーナ	
流行性耳下腺炎	
RSウイルス感染症	
急性出血性結膜炎	1
流行性角結膜炎	
性感染症	1

※ 最近4週間の北区一定点医療機関あたり報告人数 (区内定点からの全報告人数/北区定点医療機関数)

	不明発しん症	MCLS	インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ球菌	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性耳 下腺炎	RSウイ ルス感染 症	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎
1週	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	2.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2週	0.00	0.00	5.00	0.25	0.50	9.50	3.75	0.00	0.50	0.75	0.00	0.25	0.50	0.00	0.00	0.00
3週	0.00	0.00	3.87	0.50	0.25	13.00	1.75	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
4週	0.00	0.00	6.25	0.00	0.25	12.00	3.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律から、最近の感染症発生動向を送付いたします。東京都および、厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

- 1 北区感染症サーベイランス
- 2 東京都感染症情報センターのホームページアドレス  
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/index-j.html>
- 3 厚生労働省/国立感染症研究所感染症情報センターのホームページアドレス  
<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
- 4 保健所別累計表、年齢階級別累計表

## 今週のコメント（第51-4週）

### ■ インフルエンザ

年末年始をはさみ減少していたインフルエンザ定点からの患者報告数は再び増加しています。今後も増加する可能性があります。注意が必要です。インフルエンザについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

東京都感染症情報センター <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/index.html>

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>

国立感染症情報センター <http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/index.html>

■ インフルエンザにかかった時には、早めに治療し、体を休めることが、自分のからだを守るだけでなく、他の人にインフルエンザをうつさないためにも重要です。一般的には、以下のような点に注意しましょう。

- 単なるかぜだと軽く考えずに、早めに医療機関を受診してアドバイスを受けましょう。
- 安静にして、休養をとりましょう。特に睡眠を十分にとることが大切です。
- 水分を十分に補給しましょう。お茶、ジュース、スープなど飲みたいもので結構です。
- インフルエンザウイルスに対する治療薬の抗ウイルス薬は、医療機関で診察の上で使用できます。治療については、医療機関で十分相談してください。
- いわゆる「かぜ薬」と言われるものは、発熱や鼻汁、鼻づまりなどの症状をやわらげることができますが、インフルエンザウイルスや細菌に直接効くものではありません。

■ 日常的なインフルエンザ感染予防対策として、以下のことに注意をしましょう。

- ① ひとごみをさける。
- ② マスクをつける。
- ③ 帰宅時には、必ずうがいと手洗いをする
- ④ 疲労や睡眠不足をさけ、バランスよく栄養をとる。

■ インフルエンザやほかのウイルスにるかぜの感染拡大防止のために、

『咳エチケット』に協力ください。

- ① せきやくしゃみが出るときは、マスクをしましょう。
- ② せきやくしゃみをするときは、ティッシュで口と鼻をおおいます。
- ③ 使ったティッシュは、ほかの人が触らないように、ゴミ箱にすてましょう。
- ④ せきやくしゃみをした後は、よく手を洗いましょう。

■ ノロウイルスなどを原因とする感染性胃腸炎報告数も依然として多い状況です。感染予防対策として、日常的に、外出後や食事前の手洗い・うがいを徹底してください。吐物や排泄物の処理時にも注意が必要です。詳しくは、東京都感染症情報センターのホームページをご覧ください。  
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/noro/index.html>

■ 区内定点医療機関からの水痘（みずぼうそう）の報告が続いていて注意が必要です。

■ 区内では百日咳の報告数が微増しており、今後の推移に注意が必要です。